



門高通信

～平成30年度第7号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ: <http://cms1.ishikawac.ed.jp/~monzeh/nc2/htdocs/>

メールアドレス: monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp



司会進行を務める
前期生徒会役員
の藤井くんと
安田さん



式辞を述べる
大窪校長先生

70周年という節目に立ちあえたことを門前高校教職員一同大変うれしく思います。生徒のみなさんには誇りと伝統を胸に後悔のないように高校生活を楽しんでほしいものです。

創立70周年記念式典



本校卒業生
渋谷美由紀さん
のソフラノ独唱、
お礼の花束を渡す
金谷くん



池間先生による
記念講演
「懸命に生きる
人々〜日本人こそ
学んでほしい」



記念講演を聞いて
「自分が一生懸命生きる」と
とが1番のボランティア」とい
う言葉が池間さんのお話の中
で1番心に残っています。自分
は今まで、お金を寄付したり、
現地まで行って直接支援をし
たりすることがボランティア
だと思っていました。ですが、
今この瞬間を大切にしっかりと
と生きることが、自分にもでき
る心の面でのボランティアな
のだと学びました。
自分は学校に行きたくない
日々、勉強が嫌だと思う日があ
ります。でも、そんな日は、池
間さんのお話を思い出して、世界
には学校へ通いたくても通う
ことができない子供が大勢い
るといふことが考えれば、そんな
日も頑張ることができそうだ
と思えました。自分は将来、保
育関係の仕事について、どんな
子でも笑顔で温かい人になれ
るように、みんなの居場所を作
れる人になりたいです。とても
勇気もらえる講演会でした。
ありがとうございました。

11H 丸山ゆい

後期生徒会、発足。

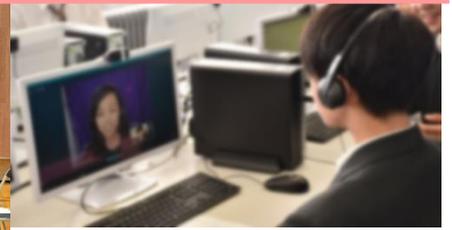


後期生徒会役員

生徒会長	2年藤井 直彌くん	(富来中)
副会長	2年山下 萌さん	(門前中)
書記	2年山口 未悠さん	(門前中)
	1年丸山 ゆいさん	(門前中)
会計	2年西 里実さん	(門前中)
	2年堀川 みなみさん	(門前中)

この度、後期生徒会長に信任された、二年一組藤井直彌と申します。私は学校の生徒が集中して授業や自主学習に取り組める学習環境を作るために生徒会長という大役に立候補しました。私は生徒に学校で学習することの必要性を実感してもらい、家庭でも「勉強しよう」という気持ちになってもらいたいと思っています。そのために学習に前向きになるような校内の環境を作り、生徒全員が勉強と部活を両立させ後悔のない進路実現ができるように進路実現のために努めます。

後期生徒会・生徒会長 藤井直彌くんに
生徒会長としての抱負を聞きました！



模擬投票

10月26日に輪島市選挙管理委員会の方々を招いて、門前中学校の3年生と門前高校の1年生と一緒に模擬投票を行いました。



オンラインスピーキング

10月26日にオンラインスピーキングが行われ、外国人の先生たちと英語で一人30分程度会話をし、生徒たちにとって良い刺激となりました。



11月の主な行事予定

- 1日 交通安全指導
- 2日 マラソン大会
- 3日 進駿マーク模試①(3年)
- 4日 進駿マーク模試②(3年)
- 5日 マラソン大会(予備日)
- 7日 学校評価中間報告会
- 8日 新人大会(～11日)
- 15日 交通安全指導、租税教室(1年)
- 17日 門中土曜授業サポート
- 24日 全統センタープレ①(3年)
- 25日 全統センタープレ②(3年)
- 26日 面談週間(～30日)

創立七十周年記念式典を終えて

大窪校長先生



十月六日、創立七十周年記念式典、ソプラノ独唱、記念講演を無事終了することができました。これもひとえに、同窓会、PTAそして地域の皆様のご尽力のお陰と心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

そして、何より感謝の気持ちを伝えたいのは、門前高校一名の生徒の皆さんです。校舎内外の清掃から始まり、当日の駐車場係、受付、案内、接待の裏方の仕事を始め、式典での司会進行、生徒代表挨拶、体育館に響き渡った校歌そして県内の校長先生方が絶賛した皆さんの式典での態度や礼儀作法と素晴らしい力を発揮してくれました。この紙面を借りて、改めてお礼を言います。ありがとうございます。

普段から、力を持ちながら、その力を外にアピールすることが得意ではない皆さんが、見事に自分たちの力をアピールしてくれました。これを機会に、更に積極的に自分達を表現できる生徒集団になって頂きたいと願います。

謙虚さは人として大切なことです。その謙虚さを忘れることなく、自分の力を信じ、何事にも積極的に立ち向かっていく若者であってほしい。